

# 自衛隊神奈川地方協力本部

## あつぎ鮎まつりで募集広報活動 — 『チーム厚木』の暑い・熱い夏—



自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、8月2日（土）に開催された『第79回あつぎ鮎まつり』において募集広報活動を行った。当日は台風の影響で開催が危ぶまれたが、開始時間の変更のみで大きな支障もなく無事に実施された。

台風一過で酷暑となったが、会場は多くの来場者で賑わい、特に「南極コーナー」が人気を集めた。南極の氷を見た来場者は「触っていいですか？」と氷に手を伸ばし、「冷たくて気持ちいい！」「フチフチする！」と興奮気味に話していた。「ペンギンが歩いた氷だ」と言って喜び子供の姿も見られた。

南極の石に対しては、「その辺の石じゃないの？」という声もあったが、実際に手に取ってみると「普通の石より重い！やっぱり南極の石だ！」と納得する様子も見られ、それぞれが南極の雰囲気を楽しんでいた。今回初めて実施した『F4EJ戦闘機』の操縦桿とスロットルの展示も好評で、子どもから大人まで興味津々でボタンを押したりレバーを動かしたりしながら、「やっぱりかっこいい！」「感動した！」との声が上がった。「どうやって操縦するのか」といった具体的な質問もあり、空飛ぶ広報官が必要と感じる場面もあった。

また、募集相談コーナーでも「自衛隊に入るにはどうすればいいのかわからない」「まずは自衛隊を見てみたい」といった前向きな声が多く寄せられ、ブースは終始人だかりとなった。

今回の広報活動は、厚木管内自衛官募集相談員会、隊友会県央支部、家族会県央地区会の協力を得て、まさに『チーム厚木』として一丸となって取り組んだ。暑く、そして熱い夏の日だったが、非常に充実した活動となった。

厚木募集案内所は、「今後も地域に根ざした広報活動を展開し、自衛隊や自衛官に対する理解促進に努めていく」としている。

## 橋本七夕まつりで広報活動



自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 栗野晃光3等陸佐）は、8月3日（日）、相模原市緑区で開催された『第73回橋本七夕まつり』において広報ブースを出展した。このまつりは、相模原市の夏の四大まつりのひとつであり、会場は色鮮やかな竹飾りで彩られ、多くの来場者で賑わった。

当日は、陸上自衛隊第1音楽隊がステージイベントのオープニングを飾り、有名アニメ映画の主題歌や神奈川県出身アーティストの代表曲など5曲を演奏した。演奏中には自然と手拍子が起こり、演奏終了後にはアンコールの声も上がるなど、幅広い世代が音楽を楽しんでいた。

広報ブースでは、神奈川地本のキャラクター「はまにゃん」「たま」「トップニャン」や、迷彩のハート型などをデザインしたボディシール体験を実施し、シールを貼った腕を自慢げに見せる子どもたちの姿が見られた。

また、自衛隊に興味を持つ来場者には、陸上・海上・航空自衛隊の多種多様な職種・職域や採用制度、福利厚生について紹介した。相模原地域の自衛官募集相談員も広報活動に参加し、来場者対応や自衛隊の説明などに積極的に協力した。

ボディシール体験では、「猫のキャラクターがかわいい」「デザインがいろいろあって、どれにしようか迷う」などの声上がり、楽しんでいる様子が見られた。また、自衛隊の説明を聞いた人からは、「こんなに多くの職種があるとは知らなかった」「意外と給料も良いんですね」といった感想も寄せられ、自衛隊に対する理解を深める機会となった。

相模原地域事務所は「今後も地域の人々と触れ合えるイベントに参加し、自衛隊をより身近に感じてもらえるよう広報活動に取り組んでいく」としている。